



緑ECO通信

夏号

編集・発行 資源循環局緑事務所

TEL (045) 983-7611 FAX (045) 982-7973

シボレンジャー



『土壌混合法～生ごみブレン土プロジェクト～』実践中!

毎日の生活の中でなかなか減らない調理くずや食べ残し…。そんな生ごみをバクテリアの力を借りて簡単な方法で、「捨てる」ずに「活かす」てみませんか？

生ごみと土を混ぜ合わせることで、好気性の微生物が働きはじめ、生ごみを分解し、良質な培養土ができあがります。

緑事務所入口の歩道沿いでは、この土壌混合法を行った土を利用して、花や野菜などの植物を育てています。

植物の栽培は未経験の職員ですが、通りかかる方の目に留まり興味をもってもらえればと、不慣れな手つきで奮闘しています。



～土壌混合法～

用意するもの プランター、生ごみ、土

手順

- 2～3 cm ほどに刻んだ生ごみと土を混ぜる。
- 生ごみと土を混ぜたものを、プランターの一方に寄せる
- 生ごみが隠れるように、上から土をかぶせる。
- 分解が進み、生ごみが消滅すると完成です (3～4週間程度)。
新たに生ごみを入れるたびに、1～3を繰り返す、プランターがいっぱいになったら全体をかき混ぜる。

● マンション・戸建住宅に関わらず、どなたでも簡単にできます!

プランターを利用した、ご家庭でもできる『土壌混合法』のパンフレットがございます。ご希望の方は資源循環局緑事務所・緑区役所地域振興課までお問い合わせください。



横浜市
ホームページ
【土壌混合法】
二次元コード

ミドリンのワンポイント



緑区キャラクター「ミドリン」

これからの季節、草刈や枝のせん定などをする機会が増えますが、その草や枝は水分を多く含み重く、燃やすごみとして出すのも大変だと思います。

草や葉を袋に入れたら口を縛らずに置いておくだけで、乾燥して重量が減ります。また、水分が少なくなることで燃えやすくなり、焼却工場の発電量も上がります。ごみの減量、温室効果ガス削減にも繋がりますので、是非ご協力をお願いします。



乾燥



2日乾燥させると… 約40%減量

「カラスよけネットボックス」によるトラブル防止対策!

ごみ出しの際に、ボックスの上蓋が民家の壁や車に接触するトラブルを防止するため、フックを利用した安全器具の取り付けを実施しています。利用する方たちが、ボックスを組み立てる(折りたたむ)際も作業しやすくなります。



収集時にボックスの上蓋が自然に閉まり、収集職員が怪我をするケースも多発しています。

区内4駅で「ポイ捨て禁止キャンペーン」を実施!

自治会や事業者など地域の皆様の地道な努力により、清潔で美しい環境が保たれている緑区ですが、人通りの多い駅周辺などでは、たばこの吸い殻などのポイ捨てがまだまだ目立ちます。

そこで今回は、各地区の環境事業推進委員さんにご協力を頂き、中山駅、長津田駅、十日市場駅、鴨居駅の4駅で、通行の方への声掛けや周辺清掃を行う啓発キャンペーンを実施しました。



中山駅



十日市場駅



長津田駅



鴨居駅

空き缶や紙くず、たばこの吸い殻などのポイ捨ては禁止されています。違反すると2万円以下の罰金を科す場合もあります。



「COOL CHOICE」は、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。



賢く、涼しく、夏を過ごしましょう!

「もったいない」を「ありがとう」へ

緑区フードドライブにご協力ください

緑区フードドライブ 検索

フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動を言います。

